

# 95チームが、よっぴん

スポーツ少年団駅伝交流大会



チームの威信を懸けて、一斉にスタート



「後は任せた!」

- 優勝 ボレイロ(サッカー)
- 準優勝 並木ペイシエンスA(野球)
- 第3位 大栄FC・ロシア2018 (サッカー)

スポーツ少年団の子どもたちが健脚を競う冬の恒例イベント「スポーツ少年団駅伝交流大会」が12月19日、サウンドハウス・スポーツセンターで行われました。参加したのは、野球、サッカー、バスケットボールなどの7競技、延べ665人。それぞれのチームのユニフォームを身に着けた選手たちは、チームの威信を懸けて力走を見せていました。上位入賞チームはご覧の通りです。

## なりDAN☆フェスティバル

### 元気よく パフォーマンス

歌や踊り、体験活動を通して子どもたちに楽しんでもらおうと12月23日、国際文化会館で「なりDAN☆フェスティバル」が行われました。歌や踊りの発表では、8つのグループが日ごろの練習の成果を披露。ハンドベルやスライム作りなどの体験コーナーに参加した子どもたちは、「みんなで呼吸を合わせて曲を演奏できてうれしかったです」「スライムは、感触がおもしろいです」と大満足の様子でした。



ハンドベルの演奏って難しいけど楽しい

## 正月用生け花教室

## 季節の花を美しく



講師のアドバイスを受けながら

花を生けることの楽しさを知ってもらおうと12月25日、「正月用生け花教室」が大栄公民館で行われました。用意された花材の豊富さに最初は戸惑い気味の参加者たちでしたが、「すべての花を使う必要はありません。自由に、思うままに生けてみて」という講師の飯嶋先生のアドバイスを受け、それぞれが用意した花器に梅や菊など色とりどりの花をあしらひ、思い思いの作品を作り上げていました。

## ミニ門松づくり教室

## 笑顔で新年の準備



竹を挿して「門松」らしくなり思わずニコリ

新年を間近に控えた12月19日、下総公民館で「ミニ門松づくり教室」が開催されました。土台となる空き缶にわらを巻き、シュロ縄で固定したものに土を入れて、竹と松を見栄えよく挿し、ミニ門松が完成。わらを編んだり、シュロ縄を花形に結んだりといった慣れない作業が続きましたが、親子で仲良く作業をしたり、友達同士互いに出来を確認したりしながら、笑顔で新年の準備に取り組みました。

## おふくろの味教室

太巻きずし作りに  
チャレンジ

先生のお手本をよく見て

伝統の味「太巻きずし」の技法を多くの人に知ってもらおうと12月10日、「おふくろの味教室」が保健福祉館大栄分館で行われました。今回チャレンジしたのは、「さざんか」と“四海巻き”。参加者は6班に分かれ、講師のお手本を参考に、具材の入れ方やのりの巻き方などを確認しながら作っていました。完成すると「さざんかの形がとてもきれいなね」「具材がちやんと真ん中にあるね」と、出来栄をお互いに褒め合いながら、手作りの味を楽しんでいました。

## お餅つきをしよう

## リズムよくペタンコ



大人用の杵を上手に使うなんて、見事！

杵きねと臼を使った餅つきを子どもたちに体験してもらおうと12月12日、子ども館で「お餅つきをしよう」が行われました。参加者たちは、通常よりも軽量・小型に作られた子ども用の杵でペタンペタン。中には、通常の杵を見事に使いこなし、大人顔負けの力を見せる参加者もいました。つきたての餅をほお張ると、思わず笑顔を見せた子どもたち。自分でついた餅の味は格別だったようです。